

新見

Life Style

暮らし

Osaka natives Mr. & Mrs. Kajiwara visited various countries around the world together in their late twenties before settling as foresters in Niimi.

自然で働き、自然と暮らす

二人とも大阪出身で、20代の終わりに刺激を求めて世界を巡っている中で、何人かの林業経験者に会い、興味を持ったのが今の暮らしのきっかけです。

日本に帰って、これを仕事にしたいと思いい、移住先を探していた時、新見市に出会いました。

林業は危険を伴いますが、木を伐ると暗い場所に光が差し明るくなる「変化」と「達成感」を毎日感じられるので、飽きの自分には合っています(笑)。

新見市は市街地に出れば大抵のものは揃うし、高速道路で大阪にもすぐ帰れる。

四季も露骨に暮らしに影響する。この都会と田舎の二面性がとても刺激的ですね。

移住や転職に不安はつきものですが、行動せずに後悔するより、新しいことに挑戦したい好奇心が勝り、移住を決めたことは正解だったと思います。

まだまだ多くの可能性を秘めたこの林業を通して、新見市を、そして日本を盛り上げていきたいですね。



林業に動しむ一方、バイクが趣味の梶原さん。「春は桜、秋は紅葉。自然の中を走るのは最高ですね。少し走れば大山もあるので、ツーリングにも最適です。」

飽きがこないのに癒される不思議なまち

暮らしが学び。毎日ワクワクできる生活へ

東京の百貨店で働いていましたが、四国に転動になった際、家庭菜園をする機会があり、そこで農業へ興味が湧きました。もともと田舎暮らしに憧れがあり、大阪で開催された就業相談会で新見市と出会い、充実した支援制度や地域の方々の人柄の良さ、豊かな自然環境に惹かれて新見市で農家になろうと移住を決めました。



突然農家になると言った旦那さんに対し、初めは冗談かと思っていた奥さんも、今では立派な農家の一員。東京と違い、人口が少ないからこそ、人との繋がりが、横の連携がしっかりしているのも新見の魅力と語る。



今後は、もっと美味しいトマトづくりを目指すとともに、次の担い手を探し、育成していくことがこの地域への恩返しだと思っています。少しでも興味がある方は、まずは一度新見市に遊びに来て欲しいですね。

農業をゼロからスタートしたので、もちろん苦労はしましたが、自分で何かを作る喜び、自給自足の生活、すくすく育つトマトを見るとワクワクします。今では自分のほ場を持ち、トマトの売れ行きも良いので、とても充実した日々を送っています。

トマトは夏が繁忙期、収穫が終わると畑を耕して春に備えます。その数カ月間はのんびりできますが、家の改修や地域行事に引っ張りだこで、ほぼ暇がないんですよ(笑)。

今後は、もっと美味しいトマトづくり

を目指すとともに、次の担い手を探し、

育成していくことがこの地域への恩返し

だと思っています。少しでも興味があ

る方は、まずは一度新見市に遊びに来て

欲しいですね。

トマト農家
鎌田さんご家族

新見市は憧れを 実現できるまち

The Kamatas from Tokyo were drawn to the friendly locals and rich natural environment, and now work in Niimi as tomato farmers.